

光 榮 に 輝 く



寫眞第1 神奈川縣、縣道鎌倉三崎線、櫻山隧道（幅員24尺4）南口の景。

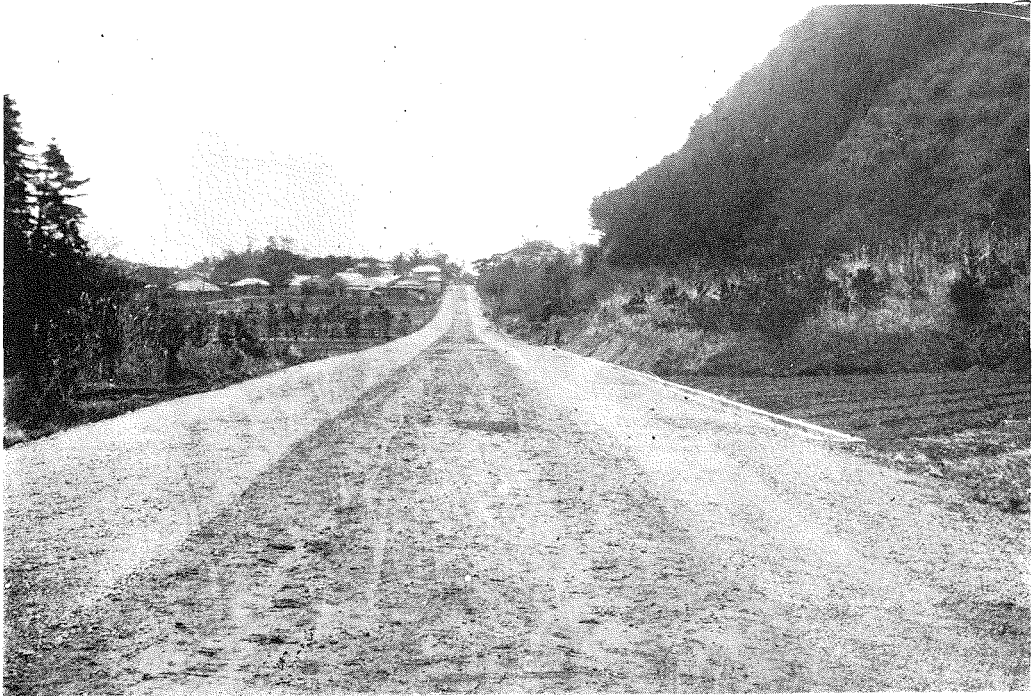
昭和六年一月九日

天皇 兩陛下 並に
皇后

照宮成子 兩内親王殿下
孝宮和子

始めて通御遊ばさる

神 奈 川 縣 道



寫眞第2 神奈川縣道鎌倉三崎線、新設道路(幅員320尺)葉山町一色地内より御用邸の方向を望む。

神奈川縣葉山海岸に在る御用邸は、今上陛下の御代になつてからは度々行幸があるので、神奈川縣に於ては其御通路を改良する事になり、御警衛道路とし、國庫補助三分一を得、總工費65萬3千圓を以て、昭和三年度から昭和五年度に至る事業として返子葉山間に新道路を起工した。

新設の御警衛道路は舊道よりも山手に寄り、幅32尺の舗裝道路で、風光明媚な地點である。

新道中には延長198間、幅24.4尺の櫻山隧道と、延長51間、幅24.4尺の葉山隧道とが新設された。

工事は神奈川縣土木部道路課長春道眞三氏主任の下に施工され、昨年末より今春にかけて僅かに元旦一日を休んだのみで工事を急ぎ、正月早々日度度も兩陛下の初の行幸を仰ぐ事が出来た。一月二十八日には畏くも皇室から金 3萬圓を神奈川縣へ御下賜になつたものである。